

市政電話サービス 意見・要望承り電話 4444 4894

報新あしや

芦屋市の人口と面積

人口総数 74,680 世帯数 22,207 男 35,909 面積 16.07km² 女 38,771

昭和48年6月20日 第298号 発行所 芦屋市精道町7-6 芦屋市役所 発行人 芦屋市長 編集 公聴広報課 印刷所 オール出版印刷 毎月2回5日20日発行 全世帯配布 昭和29年1月25日第3種郵便物認可(定価2円)

社会教育調査のあらまし

社会教育長期計画樹立の資料に

この数年、社会教育や生涯教育論、また、コミュニティの問題がクローズアップされてきています。この背景には、昭和三十年代に始まる急激な経済発展による社会構造の変動、すなわち、都市化情報化、広域化など、わたしたちを取りまく環境の変化が原因です。その結果、過密、公害、人間疎外、孤独感の増大などが進んでいます。内政充実、人間回復が課題といわれる七十年代は、市民の身近な地域社会の政治が改めて見直されようとしています。市では、これらの情勢に対応すべく、社会教育長期計画樹立のための基礎調査の一環として、社会教育調査を実施しました。今回は、この調査結果と、コミュニティ構想策定のための参考資料として実施した「コミュニティ調査」のあらましをお知らせします。なお、「社会教育調査」は、神戸大学教育学部社会教育研究室津高正教授に調査・分析をお願いしたものです。

子どもの生活とその環境

子どもの生活と学習の環境の状況は次のとおりです。まず、子どもの生活と学習の環境の状況は次のとおりです。まず、子どもの生活と学習の環境の状況は次のとおりです。まず、子どもの生活と学習の環境の状況は次のとおりです。

生活環境、地域への関心

永住意志 八〇% 問題解決 市や県で

市民の永住意志は、八〇%と高く、市が昭和四十五年実施した調査結果と、ほぼ同じ数値を示しています。居住年数との関係はあまりなく、年令との関係では、年令が高ほど、永住意志は高い傾向があります。永住したい理由では、「生活環境がよい」五二・四%、「交通が便利」四九・四%と、交通が「便利」九・四%と両方で六〇・八%で、現実的、合理的判断がおもな理由で、「いっぽう愛着がある」は二〇%しかありません。

「地球はひとつ 生命の広場」をテーマとする「環境週刊」は、五月に都市化に伴う環境破壊、地域連帯は、ノーカーディーが実施され、この問題、部落差別問題など、自然についても「二日くらいでは」と人間、人間と人間との関係とを「いや一日でもそれだけの意義はある」と評価はさまざま議論が高まってきたり、この承知のとおりです。いまほど、いままでの価値観のあり方、文明のあり方が問われている時期はない

新しい市民像をさがそう

「地球はひとつ 生命の広場」をテーマとする「環境週刊」は、五月に都市化に伴う環境破壊、地域連帯は、ノーカーディーが実施され、この問題、部落差別問題など、自然についても「二日くらいでは」と人間、人間と人間との関係とを「いや一日でもそれだけの意義はある」と評価はさまざま議論が高まってきたり、この承知のとおりです。いまほど、いままでの価値観のあり方、文明のあり方が問われている時期はない

余暇、団体活動、社会教育

余暇がある九〇% 社会教育活動や七〇%

「余暇がある」は九〇%と非常に高い。また、「趣味をもっている」は八〇・四%にのぼっています。そして、「あなたは、趣味に親しむためか、自分の教養をためるためか、学校の授業や講座に関心をおも」

あしやバザール

市商工会 芦屋市消費者協会共催の「あしやバザール」が、さる三日、精道小学校講堂で開かれ、約二千人のかたで賑わいました。

お手持品委託交換会は、各ご家庭から日用品、雑貨、衣料品などが持込まれ、各人が値段をつけて販売されたもので、委託者五十人、三十八品、三十二万四千円、売上二万四千三百二十四円四千円でした。

感謝状は、市商工会加入の食品、自転車など十五店が、おみやげの奉仕品を販売しました。

「あしやバザール」にぎわう

「あしやバザール」にぎわう

「あしやバザール」にぎわう

「あしやバザール」にぎわう

「あしやバザール」にぎわう

「あしやバザール」にぎわう

「あしやバザール」にぎわう

「あしやバザール」にぎわう

「あしやバザール」にぎわう

「あしやバザール」にぎわう

「あしやバザール」にぎわう

「あしやバザール」にぎわう

「あしやバザール」にぎわう

「あしやバザール」にぎわう

「教育熱心」さが発揮されるよう期待される。両親と教師が、子どもの成長にむかっている現状である。このとき、子どもの成長にむかっている現状である。このとき、子どもの成長にむかっている現状である。このとき、子どもの成長にむかっている現状である。

「余暇がある」は九〇%と非常に高い。また、「趣味をもっている」は八〇・四%にのぼっています。そして、「あなたは、趣味に親しむためか、自分の教養をためるためか、学校の授業や講座に関心をおも」

「あしやバザール」にぎわう

「あしやバザール」にぎわう

「あしやバザール」にぎわう

「あしやバザール」にぎわう

「あしやバザール」にぎわう

「あしやバザール」にぎわう

「コミュニティ・センター」を70%利用したい

「コミュニティ・センター」を70%利用したい

「コミュニティ・センター」を70%利用したい

「コミュニティ・センター」を70%利用したい

「コミュニティ・センター」を70%利用したい

「コミュニティ・センター」を70%利用したい

「コミュニティ・センター」を70%利用したい

「コミュニティ・センター」を70%利用したい

この調査は、昨年五月一日現在、十六才から七十四才までの男女全市民を調査して、四百四十四の調査対象をえらび、調査員による面接調査を実施。有効標本総数三百十六で、回収率は、七六・三%でした。

この調査は、昨年十一月、コミュニティについての市民のニーズを把握し、「コミュニティ・センター」(地域市民館)の調査、研究の参考資料のひとつとするため、十八才以上の市民を対象に、無作為抽出法によって、七百四十八人を対象に行ない、回収率は、三二%でした。

この調査は、昨年十一月、コミュニティについての市民のニーズを把握し、「コミュニティ・センター」(地域市民館)の調査、研究の参考資料のひとつとするため、十八才以上の市民を対象に、無作為抽出法によって、七百四十八人を対象に行ない、回収率は、三二%でした。

この調査は、昨年十一月、コミュニティについての市民のニーズを把握し、「コミュニティ・センター」(地域市民館)の調査、研究の参考資料のひとつとするため、十八才以上の市民を対象に、無作為抽出法によって、七百四十八人を対象に行ない、回収率は、三二%でした。

この調査は、昨年十一月、コミュニティについての市民のニーズを把握し、「コミュニティ・センター」(地域市民館)の調査、研究の参考資料のひとつとするため、十八才以上の市民を対象に、無作為抽出法によって、七百四十八人を対象に行ない、回収率は、三二%でした。

この調査は、昨年十一月、コミュニティについての市民のニーズを把握し、「コミュニティ・センター」(地域市民館)の調査、研究の参考資料のひとつとするため、十八才以上の市民を対象に、無作為抽出法によって、七百四十八人を対象に行ない、回収率は、三二%でした。

この調査は、昨年十一月、コミュニティについての市民のニーズを把握し、「コミュニティ・センター」(地域市民館)の調査、研究の参考資料のひとつとするため、十八才以上の市民を対象に、無作為抽出法によって、七百四十八人を対象に行ない、回収率は、三二%でした。

この調査は、昨年十一月、コミュニティについての市民のニーズを把握し、「コミュニティ・センター」(地域市民館)の調査、研究の参考資料のひとつとするため、十八才以上の市民を対象に、無作為抽出法によって、七百四十八人を対象に行ない、回収率は、三二%でした。

「人間環境宣言」

「人間環境宣言」

「人間環境宣言」

「人間環境宣言」

「人間環境宣言」

「人間環境宣言」

「人間環境宣言」

「人間環境宣言」

同和教育のめざすもの

憲法・教育基本法の理念の実現に

不当に差別しない、差別を許さない、差別にうちかつ民主的な人間形成にありませぬ。

民主的の社会を標榜し、それをめざしているのは私たちの社会にあってはならない部落差別が存していること、同和地区の人別のため劣悪な条件のもとにおか

びとの問題であるだけでなく、国民全体として受けとめなければならない問題です。部落差別がなく

ならない限り、真の意味でみんながしあわせになれる民主的な社会の実現はありませぬ。

同和行政もまた、その方向で進めなければならない。従って同和行政は、単なる特別対策や、同

情、融和施策であってはならず、不合理な差別の実態をなくし、差別に苦しむ人びとの明るい社会の実現をめざして行なわれるべき

です。本号は、同和教育のねらい、施策などについてお知らせします。

同和行政もまた、その方向で進めなければならない。従って同和行政は、単なる特別対策や、同情、融和施策であってはならず、不合理な差別の実態をなくし、差別に苦しむ人びとの明るい社会の実現をめざして行なわれるべきです。

本号は、同和教育のねらい、施策などについてお知らせします。

同和教育を学校の基底に

同和教育は、具体的にはどのような教育活動を進めようとしているのでしょうか。これを追求することをめざして、同和教育の全体像を明らかにしたいと思います。

同和教育というのは、何も特別の教育ではありません。重要なこととは、わが国における行政の責務

の国民的課題である同和教育を中心とすべく、そこから今までの日本の教育を問いただし、あとに述べ

る人間像を実現する全教育活動なの

です。学校での子どもの活動は、大きく分類しますと二つの側面から成

立します。その一つは教科活動で

あり、いま一つは教科外活動です。今日の指導要領ではこれを三領域

すなわち教科、道徳、特別活動に

わけていますが、結局のところ、教科、教科外活動を細分化したに

過ぎませぬ。私たちはこの二側面を

つうじて子どもの全面発達、知

情、意の調和的成長を進めようとして

いる。その取り組みは実に複雑であり多

岐にわたります。この取り組みは実に複雑であり多岐にわたります。

この取り組みは実に複雑であり多岐にわたります。

主体的人間としての力量を形成する

ことであり、教育基本法のねらい

と一致します。よくよく親の願いを分析して

みると、私たちが学校をつくり、

先生を配置したのは、子どもたち

に天与の可能性を実現し、差別を

許さぬ、それこそ基本的な人権を最

も尊重する世の中をつくるにたる

人間を形成するためではないで

しょうか。もっと通俗的な言葉でい

えば、「親のうけたまわった生活

二度とくり返さずたくない」とい

う願いのために、そしてさらに自

分ちたよりもっと自由で個性豊

かゆがめられていきます。その最も

重要な人権を保障する同和教育

の条件づくり

同和教育では、進路保障を教育

の総和だといっています。なぜ、

この進路保障が、今日の教育を進

めていくうえで、当面する主要な

課題となるのでしょうか。いまま

でもなく、部落解放のめざす部

落差別の実態を解消し、すべての

国民に対して同和教育の本質を自

らの課題として認識させることだ

の課題です。と、この差別

の実態ですが、そこにはさまざま

な生活ができるように」と願って

学校をつくり先生を配置したのだ

といえます。このように考えて

いきたいと思います。親の願いは、現代、親や子どもが

生きていく現実から、必然の結果

として生まれた教育の願いだとい

えます。現実が差別の状況

にあればあるほど、教育へ寄せ

る願いは痛切であり最高だとい

えます。親や子どものおか

れている現実を客観的にとらえ

るとき、教育に対する期待はより深

刻となってきます。ところで、現代の親や子どもの

生きていく現実はどうでしょうか。

ひとくちにいうと、そこには部

落差別を基底にすえさまさまな

差別が、人間の成長を極度にゆが

めていきます。基本的な人権そのもの

がゆがめられていきます。その最も

重要な人権を保障する同和教育

の条件づくり

同和教育では、進路保障を教育

の総和だといっています。なぜ、

この進路保障が、今日の教育を進

めていくうえで、当面する主要な

課題となるのでしょうか。いまま

でもなく、部落解放のめざす部

落差別の実態を解消し、すべての

深刻な問題が、今日の部落差別な

ことはどうしてもできません。

このように考えるとき、わが国

の教育のえがく人間像はまさしく

日本国憲法を実現する国民形成で

あり、基本的な人権を尊重し、最

も人間像を設定することもでき

ません。いさゝかの教育活動を進

めることは不可能だといえます。

差別を許さぬ、解放への力量を

もった民主的な人間を形成するこ

とだといえます。

差別を許さぬ、解放への力量を

もった民主的な人間を形成するこ

とだといえます。

差別を許さぬ、解放への力量を

もった民主的な人間を形成するこ

とだといえます。

差別を許さぬ、解放への力量を

もった民主的な人間を形成するこ

とだといえます。

差別を許さぬ、解放への力量を

もった民主的な人間を形成するこ

とだといえます。

差別を許さぬ、解放への力量を

もった民主的な人間を形成するこ

とだといえます。

差別を許さぬ、解放への力量を

あおうとする過程であったとい

えます。わが国には、差別と偏見が主

要な原因になって、その多くが近

代産業へ進出していないといわれ

ています。それだけに、この問題

はまさに重要な問題といえます。

このようにして、子どもの可能性

を限りなく発現する教育条件を確

立し、同和地区の子どもの進路を

保障するという仕事は、とりもな

おさず、すべての子どもを教育の

網の目からさらす進路保障を

していくことに直接つながることを

私たちは認識しなければなりません。

いままでたびたびふれま

したように、もっとも基本的な人権を侵

されている同和地区の子

びに対して輝かしい進路を保障しようとして

いる同和教育は、とりもな

おさず、すべての子どもを教育の

網の目からさらす進路保障を

していくことに直接つながることを

私たちは認識しなければなりません。

いままでたびたびふれま

したように、もっとも基本的な人権を侵

されている同和地区の子

びに対して輝かしい進路を保障しようとして

いる同和教育は、とりもな

水練学校生徒募集

■とき／7月21日～8月20日、午前8時30分～11時30分

■会場／芦屋市民プール

■会費／市内在住、在学の人

は1,500円、市外の人

は2,000円

■資格／小学校2年以上

(小学生、中学生、高校生、大学生、成人)

■定員／1,600人

■申込受付場所／市立精道小学校講堂前

■申込日／7月6日～7日、午前9時～午後3時

定員になり

たいしめきります。なお市外の人

は、定員に余裕がある

場合に限り8日の午前9時から受け付け

ます。

必要に応じて

要約しますと、主として部落差

別による就職差別が貧困を生み出

す。

必要に応じて

芦屋市民プール 7月1日オープン

期間	7月1日～9月10日	使用料	おとな(中学生以上) 2時間まで 100円
時間	(平日)午前10時～午後7時 (日曜)午前9時～午後7時	超過料金	おとも(小学校6年生まで) 2時間まで50円 おとな 1時間増すごとに 50円 おとも 1時間増すごとに 20円

ただし水練学校開催中は日曜日を除いて正午から開場します。

区域・基準など審議始める

緑ゆたかな美しいまちづくり審議会

「緑ゆたかな美しいまちづくり... (市長田中良太郎氏、副会長高田英夫氏) が審議会(会長田中良太郎氏、副会長高田英夫氏)が...

緑ゆたかな美しいまちづくり条例(全文)

第一章 総則

第一条 この条例は、

第一条 この条例は、声屋市民のより健康でより文化的な生活を確保するため、緑と清潔さを代表される市民共有の環境美の維持向上を図り、声屋市総合計画の基礎となる良好な生活空間を創造することを目的とする。

第二条 緑ゆたかな美しいまちづくりは、次の基本理念に基づいて推進されるべきでない。

(1) 本市のすぐれた環境美は、天与の自然美に加えて先人の賢明な努力の集積により形成されたものであるとの認識に立つべきこと。

(2) われわれ声屋市民は、自然と人間との新たな調和を希求し、自然の摂理に則してその顕現を図り、もってより美しい環境を創造してこれを将来の市民に継承すべきこと。

(3) すべての市民が有する健康で文化的な生活を営む権利の保障は、市長、市民および事業者がそれぞれの責務を自覚し、あらゆる力を尽くしてその実現を図るべきこと。

(市長の責務) 第三条 市長は、緑ゆたかな美しいまちづくりを達成するための総合的な基本計画を作成し、これを実施することにより良好な生活環境を保全し、もって市民の健康で安全かつ快適な生活を確保しなければならない。

2 市長は、前項の基本計画を作成するにあたっては、第三十八

者または設置しようとする者を含む。は、積極的に前項に規定する緑化推進計画に協力する

3 市長は、前条の規定による指導または勧告をする場合、その他に必要があると認められる場合は、その必要の限度において第一項に規定する期間を延長することができる。

3 市長は、前条の規定による指導または勧告をする場合、その他に必要があると認められる場合は、その必要の限度において第一項に規定する期間を延長することができる。

罰金に処する。(1) 第十条の規定による届出をせず、または虚偽の届出をした者

第二条 緑ゆたかな美しいまちづくりは、次の基本理念に基づいて推進されるべきでない。

(1) 本市のすぐれた環境美は、天与の自然美に加えて先人の賢明な努力の集積により形成されたものであるとの認識に立つべきこと。

(2) われわれ声屋市民は、自然と人間との新たな調和を希求し、自然の摂理に則してその顕現を図り、もってより美しい環境を創造してこれを将来の市民に継承すべきこと。

(3) すべての市民が有する健康で文化的な生活を営む権利の保障は、市長、市民および事業者がそれぞれの責務を自覚し、あらゆる力を尽くしてその実現を図るべきこと。

(市長の責務) 第三条 市長は、緑ゆたかな美しいまちづくりを達成するための総合的な基本計画を作成し、これを実施することにより良好な生活環境を保全し、もって市民の健康で安全かつ快適な生活を確保しなければならない。

第七条 市長は、緑ゆたかな美しいまちづくりを達成するための総合的な基本計画を作成し、これを実施することにより良好な生活環境を保全し、もって市民の健康で安全かつ快適な生活を確保しなければならない。

まちは緑と花でつつみましょう 市民憲章推進運動 ばら園芸教室 山野草園芸教室